

# 茶病虫害防除情報

【第 9 号】

令和元年 7 月 11 日

鹿児島経済連・肥料農薬課

## 茶園を傷める 第 2 世代クワシロカイガラムシ防除対策

今年の鹿児島の梅雨は、前半はやや降雨が少ない状況で推移しましたが、梅雨後半になり、大雨がありました。茶園の病虫害防除対策面では梅雨明けが何時頃になるか気掛かりです。農家の皆様には三番茶の摘採も早場産地から始まってきましたが、蒸暑い気候の中ご苦労様です。今回は第 2 世代クワシロカイガラムシの防除適期など防除対策についてお知らせします。

### ☆ 発生概況・・・発生時期 「並」 発生量 「やや少」

今年第 1 世代虫の発生状況は発生圃場率 17%（平年 39%）で、平年よりやや低い状況でした。また、発生程度も各産地とも低く、被害茶園は殆どみられない状況のようです。第 2 世代幼虫の発生は、県病虫害防除所の病虫害発生予察情報(7 月)では発生時期が「並」、発生量は「やや少」の予報になっています。現在殆どの地域が産卵末期からふ化始めの状態で、早い地域ではふ化最盛期が近づいています。これから梅雨明け、降雨が少ない状況になると定着が多くなり、発生は増加します。

平均気温を利用した防除適期予測では第 1 世代ふ化最盛期から概ね 65 日後頃が第 2 世代のふ化最盛期になり、農業開発総合センター茶業部で 7 月 16 日頃と予測しています。また、7 月 7-8 日に実施した南薩、日置地区の防除適期調査では発生が少なく、調査用寄生枝の採集は困難で、調査可能地区(園)は限られました。このため防除適期の予測は茶業部を基準とし、これまでのデータ等から予測しました。防除適期となるふ化最盛期は、表 2-4 のとおりで、早場地域 7 月 2~3 半旬、中間地域 7 月 3~4 半旬、遅場地域 7 月 4~5 半旬と予想されます。

### ☆ 防除対策

防除適期は幼虫ふ化最盛期から約 5 日後頃迄です。これより早すぎて産卵の時期や、遅れて幼虫がロウ質の介殻で覆われるようになると効果はありません。防除の前に幼虫のふ化状況を調べ、防除適期を確認して防除します。防除時期が三番茶摘採期と重なり、防除が難しいと思われませんが、この世代の発生は加害時期に晴天・乾燥が続くため、茶園は枯死や衰弱が激しくなるので、発生の多い園では摘採終了後速やかに防除を行ってください。また、更新園では防除効果が高いので、発生のみられる園は是非防除します。

表 1 クワシロカイガラムシの第 2 世代時期における薬剤防除法

防除時期	防除薬剤	使用濃度 (倍)	薬剤使用基準	使用上の留意事項
第 2 世代幼虫	スプライト® 乳剤 40	1000~1500	14 日 1 回	ふ化最盛期~5 日後頃ま
ふ化最盛期	ダースハン® 乳剤 40	1000	14 日 2 回	でに散布する。
(7 月上~下旬)	ハーベストオイル	100~150	5~9 月 ー	中切りなど更新後。
雄繭発生期	スプライト® 乳剤 40	1000~1500	14 日 1 回	ふ化最盛期 18~24 日後。

表2 クワシロカイガラムシ各産地の防除適期予測（早場産地）

調査	市町	地区	予測の根拠 (産卵・ふ化状況)	ふ化最盛日(予測)	防除適期(予測)	
7 月 8 日	南九 州市	穎娃・谷場	これまでのデータから推定	7月15-17日	7月15-22日	
		折尾・雪丸	〃	7月13-15日	7月13-20日	
		青戸	ふ化中期 ふ化率 30~40%	7月12-14日	7月12-19日	
		瀬谷	これまでのデータから推定	7月15-17日	7月15-22日	
		折尾	ふ化中期 ふ化率 35~45%	7月12-14日	7月12-19日	
	8		知覧・菊永	ふ化末期 ふ化率 50~60%	7月10-12日	7月10-17日
			大隣	ふ化末期 ふ化率 45~55%	7月11-13日	7月11-18日
			西垂水	これまでのデータから推定	7月12-14日	7月12-19日
			塗木	〃	7月13-15日	7月13-20日
			永里(茶業部) 後岳	<b>有効積算温度</b> 産卵末期~ふ化極始め	(7月16日) 7月21-23日	7月16-23日 7月21-28日
7 月 8 日	枕崎市	枕崎・中原	ふ化最盛期直前 ふ化率 70~80%	7月8-10日	7月8-15日	
		鹿籠	ふ化最盛期	7月7-9日	7月7-14日	
		茅野	これまでのデータから推定	7月9-11日	7月9-16日	
		木口屋	〃	7月10-12日	7月10-17日	
		駒水	ふ化末期 ふ化率 60~70%	7月10-12日	7月10-17日	
	南さつ ま市	加世田・東山	これまでのデータから推定	7月17-19日	7月17-24日	
			鉄山	〃	7月19-21日	7月19-26日
		南九 州市	川辺・松崎	これまでのデータから推定	7月16-18日	7月16-23日
	月 日	志布 志市	野神	〃	7月18-20日	7月18-25日
			勝目	〃	7月17-19日	7月17-24日
有明・原田			これまでのデータから推定	7月7-9日	7月7-14日	
野神			〃	7月10-12日	7月10-17日	
風八重			〃	7月14-16日	7月14-21日	
日		志布志・安楽 帖	大隅分場	〃	7月14-16日	7月14-21日
			伊崎田	〃	7月17-19日	7月17-24日
			これまでのデータから推定	7月7-9日	7月7-14日	
曾於市	大隅 八合原	〃	7月9-11日	7月9-16日		
		松山・秦野	これまでのデータから推定	7月14-16日	7月14-21日	
鹿屋 市	鹿屋・高須 東原	これまでのデータから推定	7月16-18日	7月16-23日		
		〃	7月4-6日 7月7-9日	7月4-11日 7月7-14日		

		大始良	〃	7月9—11日	7月9—16日
	錦江町	大根占・城元	これまでのデータから推定	7月12—14日	7月12—19日
		田代・大原 盤山	これまでのデータから推定 〃	7月17—19日 7月20—22日	7月17—24日 7月20—27日

表3 クワシロカイガラムシ各産地の防除適期予測（中間産地）

調査	市町	地区	予測の根拠 (産卵・ふ化状況)	ふ化最盛日（予測）	防除適期（予測）	
7月9日	鹿児島市	松元・春山	これまでのデータから推定	7月18—20日	7月18—25日	
		仁田尾	〃	7月19—21日	7月19—26日	
		直木	ふ化始め  ふ化率 3～5%	7月18—20日	7月18—25日	
	日置市	伊集院・飯牟礼	これまでのデータから推定	7月19—21日	7月19—26日	
		恋の原	ふ化始め  ふ化率 5～7%	7月17—19日	7月17—24日	
	南さつま市	東市来・田代	これまでのデータから推定	7月18—20日	7月18—25日	
		梅木	ふ化始め  ふ化率 2～3%	7月18—20日	7月18—25日	
		金峰・農大	これまでのデータから推定	7月10—12日	7月10—17日	
			大野	〃	7月11—13日	7月11—18日
		白川	〃	7月13—15日	7月13—20日	
7月9日	薩摩川内市	入来 中之原	これまでのデータから推定	7月19—21日	7月19—26日	
		中山	〃	7月20—22日	7月20—27日	
		樋脇 柳原	〃	7月18—20日	7月18—25日	
			丸山	〃	7月17—19日	7月17—24日
	さつま	宮之城 舟木	〃	7月19—21日	7月19—26日	
	出水市	平和	〃	7月19—21日	7月20—27日	

表4 クワシロカイガラムシ各産地の防除適期予測（遅場産地）

調査	市町	地区	予測の根拠 (産卵・ふ化状況)	ふ化最盛日（予測）	防除適期（予測）
7月9日	霧島市	溝辺・崎森	これまでのデータから推定	7月18—20日	7月18—25日
		十三塚原	〃	7月19—21日	7月19—26日
		空港裏	〃	7月19—21日	7月19—26日
		麓	〃	7月19—21日	7月19—26日
		木佐貫原	〃	7月20—22日	7月20—27日
	牧園	中津川	これまでのデータから推定	7月20—22日	7月20—27日
		三体堂	〃	7月21—23日	7月21—28日
		万膳	〃	7月21—23日	7月21—28日

湧水町	栗野 檜原	これまでのデータから推定	7月 22-24日	7月 22-29日
	十三塚原	〃	7月 23-25日	7月 23-30日
曾 於 市	末吉 丸山	これまでのデータから推定	7月 18-20日	7月 18-25日
	大沢津	〃	7月 19-21日	7月 18-25日
	財部 正部	これまでのデータから推定	7月 19-21日	7月 19-26日
	上正部	〃	7月 20-22日	7月 20-27日
	十文字	〃	7月 18-20日	7月 18-25日

- ☆ 今回の調査では発生が少なく、調査用の寄生枝採取が出来ず、殆どの地区で調査できなかった。このため有効積算温度、第1世代ふ化最盛期からの日数(第1世代の65日後)、前年との発生差(+7日)などこれまでのデータから予測した。
- ☆ 防除適期は同じ地域・地区でも圃場によって異なることがある。このためこの情報の防除適期は大まかな目安とし、正確な防除適期はJAや地域振興局などに調べてもらいましょう。